

万博が  
もたらす  
インパクト

○2025年に開催される大阪・関西万博は、2,820万人（インバウンド350万人）が来場し、経済波及効果は2兆円とされる一大プロジェクト  
○この効果を三重県に引き込むための取組が必要

- ◇三重県ブースにおいて、三重県オンリーワンの魅力を発信し、三重県への来訪につなげる
- ◇万博を見据え、首都圏等大都市圏で戦略的プロモーションを実施し、万博来場者の県内周遊をめざす

千年以上の時を越えて未来へとつづく、日本人の精神・文化の原点の物語とそこで育まれた美し国みえの姿

## 日本人のこころの原点 ～美し国みえへとつづく時を超えた物語～

世界に向けて三重県の魅力をストーリー性豊かな体感・体験型エンタテインメント空間として発信

- ・「日本人のこころの原点」としての魅力を核としたメッセージを発信
- ・三重県の美しい自然を舞台とした千数百年の物語を体感
- ・世界の人々の共感を呼ぶイメージ豊かなエンタテインメント空間
- ・オール三重の取組成果を発信し、未来へつなぐ



関西パビリオン外観イメージ 提供：関西広域連合

三重県が世界に誇る魅力と出会い、三重の多様な魅力を知り、旅立つストーリーでブースを構成

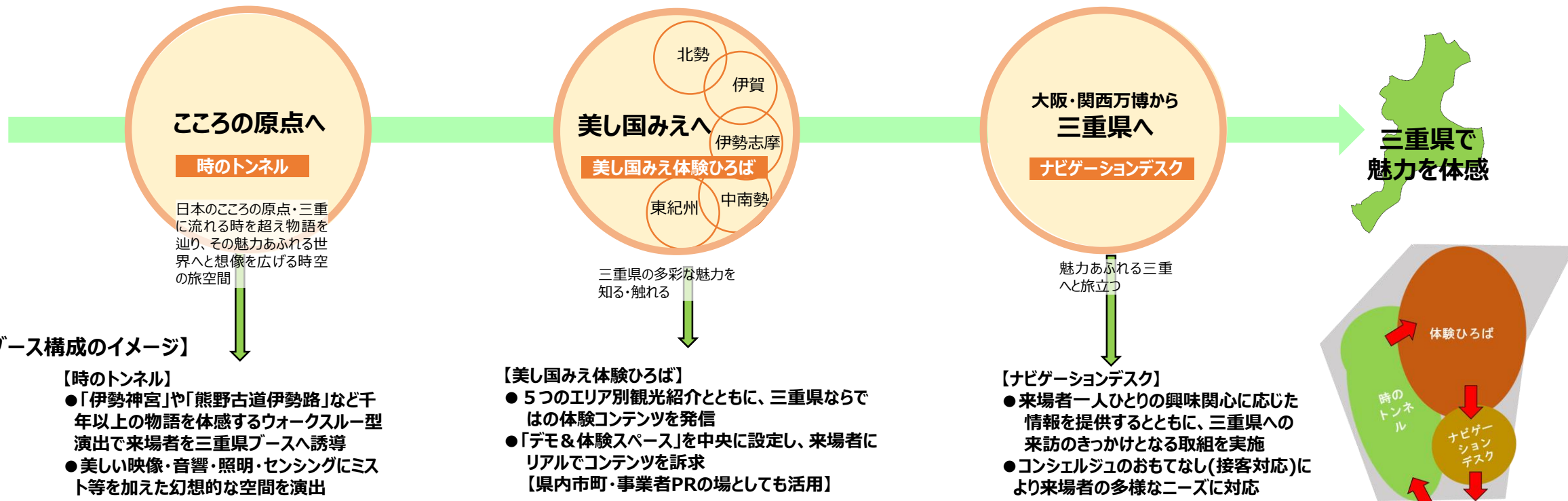
【ブース・ゾーニングの考え方】

1. 出会う

2. 知る

3. 旅立つ

4. 三重県で



【ブース構成のイメージ】

【時のトンネル】

- 「伊勢神宮」や「熊野古道伊勢路」など千年以上の物語を体感するウォークスルー型演出で来場者を三重県ブースへ誘導
- 美しい映像・音響・照明・センシングにミスト等を加えた幻想的な空間を演出



【美し国みえ体験ひろば】

- 5つのエリア別観光紹介とともに、三重県ならではの体験コンテンツを発信
- 「デモ&体験スペース」を中央に設定し、来場者にリアルでコンテンツを訴求【県内市町・事業者PRの場としても活用】



【ナビゲーションデスク】

- 来場者一人ひとりの興味関心に応じた情報を提供するとともに、三重県への来訪のきっかけとなる取組を実施
- コンシェルジュのおもてなし(接客対応)により来場者の多様なニーズに対応



来場者の動線イメージ

ブースの  
取組方針

ブース出展の  
テーマ